

「幸福度」日本一の石川へ「**馳**はせプラン」の実現
石川県成長戦略会議で

動かそう！石川新時代へ

緊急
コロナ
対策

- ワクチン3回目接種の迅速化とPCR検査の拡充
- 国の支援金等をフル活用と県独自の支援上乗せ
- コロナ後の経済V字回復策の作成と実行

能登・加賀・金沢
地域振興

- 能登振興室、能登振興県民会議の新設、能登DX(デジタル化)構想の実現など
- 北陸新幹線(小松駅・加賀温泉駅)開業による観光活性化や経済波及効果の最大化、小松空港新滑走路建設など北陸一大拠点づくりなど
- 金沢の交通まちづくり進展支援、金沢港の賑わい創出、金沢都ホテル跡地や日銀(移転後)跡地の利活用など

経済・産業・
農林水産業振興

- 知事が本部長を務める石川県成長戦略会議を新設!
- 農水産品ブランド化や輸出拡大、県産材利用拡大で木質都市の実現

医療福祉・公共交通

- 地域実態を踏まえた医療体制の充実と健康寿命の延伸
- 地域公共交通を守るための支援を拡充

子育て・教育・女性活躍

- 子育て支援の拡充、子どもの居場所づくりへの支援
- 学力の維持・向上と、ふるさと・偉人教育の推進
- 女性副知事の登用や女性起業家育成へ相談体制の充実

文化・スポーツ振興・広報

- 石川・食文化創造構想の立案
- 地元プロスポーツ×地域スポーツ連携計画作成とアリーナ建設の検討
- 戦略広報室の新設と知事のトップセールス

議員立法の成立数は歴代トップクラス

政策実現力No.1

県民の声を形に!お約束します。

私はこれまで国会議員として、お一人おひとりの声を聴き、それを法律や国の予算として形にしてきました。これからは県知事として、県民の皆さんの声を聴き、受け止め、形にしていきたいと思います。県政の主役は県民です。力を合わせて、石川県の新時代を切り拓いていきましょう!



政治の役割とは誰もが「生きる力」を感じられる社会をつくることです

ただ、生きる力さえあれば追い詰められて自暴自棄になつたりしない困難を困難だとも思わなくなるかもしれない

生きていけば人は様々な痛みや苦しみを背負うもの



小学生の頃に石川県のリンゴ農家の親戚の家へ養子に出され、

貧しい農家の三男坊として生まれた馳浩は

以後52年間石川県で暮らした



はせ浩ひろし

文部科学大臣経験
国会議員在職約27年

プロフィール

昭和36年5月5日生まれ。金沢市立千坂小学校・鳴和中学校・星稜高等学校・専修大学卒業。星稜高校国語教諭・オリンピック選手(レスリング)・プロレスラーを経て、参議院議員1期・衆議院議員7期。第16代 文部科学大臣、自民党政調会長筆頭代理などを歴任。石川県在住52年。

自民党 石川連支持 日本維新の会 推薦

身を切る改革実行!
知事報酬3割、退職金5割をカット
(4年で約4,120万円)削減

漫画の続きはこちら→



はせ浩

詳しい公約は公式サイト・各種SNSでぜひご覧ください。